

今月の管内農業情報(田原農業改良普及課)

[2019年4月1日]

3月の農業情報

タイトル 高出力LEDによる日中補光、冬季生産性向上の光となるか

とき 平成31年2月

ところ 田原市

主体・対象 輪ギク生産者3名

内容

管内の輪ギク生産者3名が、ほ場の光条件が悪い箇所に高出力LEDを導入して日中補光に取り組んだ。その結果2～3月開花作型において、草丈伸長効果が見られ、切花の等階級が向上した。農業改良普及課は、費用対効果を算出して高出力LEDランプの普及性を確認する。

冬季の輪ギク栽培では、寡日照により生産性が低下することが長年の問題である。生産者は、反射シート設置や定植方法の工夫など採光性を良くする取組を行ってきた。最近では、市販のLED投光器で、光条件が特に悪い箇所の補光を試みる生産者が増えている。

今年度、管内の輪ギク生産者3名が市の補助事業を活用して高出力LEDを導入した。2～3月開花作型において、消灯前は6時から18時まで、消灯後は日の出から日の入りまでLEDで補光を実施した。放射照度計で照度を測定したところ、キクの光補償点を上回り光合成を促進する効果があることがうかがわれ、生育調査から草丈伸長や等階級の向上効果が確認された。



導入したLED（試作品）